



青き楓

島高だより
平成29年6月号
(通巻第135号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

守 破 離

校長 渡邊 孝経

島原高校武道館2階に「守破離」と書かれた扁額が飾られています。これは、物事を習得する上での段階を三つに分けた言葉です。もともと、この言葉は江戸時代中期の茶匠川上 不白(不白流茶道開祖)という人が記した「不白筆記」に見られ茶道の修業段階を教えたものです。

武道の世界では、北辰一刀流の開祖千葉周作(坂本龍馬が師事した千葉定吉の兄)が小野派一刀流を学んでその後北辰一刀流を編み出しますが、その修行過程でこの言葉を使っています。「サムライの金字塔」の著者大久保和政氏、田中宏明氏は次のように説明しています。

「守」とは、師匠の教えを正確かつ忠実に守り確実に身に付けることで、最も大切な基礎を養成する「学び」の段階、基本型です。「定石知らずに碁を打つな」という俗言さえあります。この守を完成させずに、あれこれやってみたとところで、殆ど大成の見込みはありません。

「破」とは、それまで身に付けた技や形をさらに洗練させ、自己の個性を創造する段階です。破は決して破壊ではありません。「啐啄同時」という言葉もありますが、内からの力と外からの力が合わさって、破殻出雛することであり、未来への飛躍を夢みて、自己の固定型を編み出すものです。

「離」とは、さらに前進させ自らの新しい独自の道を確認させる最終段階です。つまり、過去からも、師や先生からも、親からも、今ある原理法則からも、完全に離脱独立することです。

万事、この3段階を経由することなしに、すぐに身につくことはほとんど無いと思います。もし、いきなり離の段階と勘違いして、自由、革新的意見を唱えたり行動したりしても、足が地についていないのだから、価値あることにはならないでしょう。

高校生活を考えて1年次が守、2年次が破、3年次が離と理解しても良いし、1年間を1学期が守、2学期が破、3学期が離と理解して行動してみるのも良いのではと思います。

しかし、ある有名なアメリカ人の書道家は「離・破守」のほうが良いのでは?とおっしゃったと聞いています。つまり「自由な発想で字を書き、それに指導を加えるほうが面白い作品ができる」ということらしいのです。グローバルは寛容からと言いますが、なるほどと思われました。

7月の主な行事予定

3日(月) 生徒会役員任命式 野球部・合唱部壮行式	16日(日) 合唱コンクール県大会
7日(金) 高校野球選手権開会式	18日(火) 三者面談(～31日)
8日(土) 進研記述模試(全学年) 弓道・剣道九州大会 (弓道は島原会場)	19日(水) 心に響く人生の達人セミナー 島原文化会館 13:40～
9日(日) 進研記述模試(3年)	20日(木) 木の①②の授業 大掃除・終了式
13日(木) 校内球技大会 ※雨天時順延	21日(金) 前期授業設定日(～27日)
14日(金) 校内球技大会予備日	25日(火) 島高学校説明会 ※裏面参照
15日(土) 土曜講座(1・3年) 長崎大学オープンキャンパス(2年)	28日(金) 夏季補習(1・2年～8/3) 学習合宿(3年～8/3)

県高総体結果

今年は優勝旗3本!



バスケットボール男子	<1回戦> 対 五島 61-63 負
バスケットボール女子	<2回戦> 対 長崎南 47-60 負
陸上競技男子	<砲丸投> 松本優作 5位(北九州大会出場) <100m> 池田成諒 4位(北九州大会出場) ※北九州大会2位(インターハイ出場) <200m> 池田成諒 2位(北九州大会出場) ※北九州大会6位(インターハイ出場) <5000m> 近藤亮太 3位(北九州大会出場)
陸上競技女子	<棒高跳> 本田早紀 1位(北九州大会出場) 中田有香 2位(北九州大会出場) <800m> 城谷桜子 8位
剣道男子	[個人] 志築柁威 優勝(インターハイ・九州大会出場) 林田拓朗 2位(九州大会出場) 黒川雄大 3位(九州大会出場) [団体] <決勝> 対 島原中央 2-0 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
剣道女子	[個人] 松田美結女 3位(九州大会出場) 東 陽乃 ベスト8(九州大会出場) [団体] <決勝> 対 西海学園 1-1 本数勝ち 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
テニス男子	[個人] ダブルス 苑田・菅藤 ベスト16 [団体] <1回戦> 対 佐世保高専 3-0 勝 <2回戦> 対 長崎東 0-3 負
テニス女子	[個人] [団体] <1回戦> 対 諫早商業 0-3 負
レスリング	[個人] 50kg級 喜多瞭太郎 優勝(インターハイ・九州大会出場) 60kg級 岡田隼季 優勝(インターハイ・九州大会出場) 喜多涼真 3位 66kg級 松尾浩成 2位(九州大会出場) 74kg級 金子将大 優勝(インターハイ・九州大会出場) 84kg級 大津拓馬 優勝(インターハイ・九州大会出場) 喜多康介 2位(九州大会出場) 120kg級 小嶺佑介 3位 [[団体] <第1試合> 対 島原翔南 6-1 勝 <第3試合> 対 大村工業 6-1 勝 <第6試合> 対 島原工業 5-2 勝 団体優勝(インターハイ・九州大会出場)
ソフトテニス男子	[個人] 小林良太郎・山外輝 6位(インターハイ・九州大会出場) [団体] <2回戦> 対 猶興館 3-0 勝 <3回戦> 対 佐世保工業 0-2 負
ソフトテニス女子	[個人] 松尾悠奈・松本慧 ベスト16 [団体] <1回戦> 対 長崎玉成 1-2 負
バレーボール男子	<2回戦> 対 北陽台 2-0 勝 <3回戦> 対 総科大付属 0-2 負
バレーボール女子	<1回戦> 対 波佐見 2-0 勝 <2回戦> 対 佐世保実業 1-2 負
弓道男子	[団体] 1次予選敗退
弓道女子	[団体] <決勝リーグ> 4勝2敗 準優勝(九州大会出場)
ラグビー	<1回戦> 対 大村城南 29-5 勝 <2回戦> 対 北陽台 0-90 負
体操男子	[団体] 4位
体操女子	[団体] 3位
サッカー	<1回戦> 対 瓊浦 0-0(PK3-0) 勝 <2回戦> 対 大村 2-4 負
卓球	[ダブルス] 石田竜也・金井光希 2回戦負

※ 個人戦は上位のみ掲載

街角オーケストラ&文芸部引退公演

【管弦楽部】6月11日(日)サンブラザ万町にて定期演奏会「第10回街角オーケストラ」を開催しました。当日は100名を超える方々に来ていただき、「アルルの少女より『ファランドール』」から、アンコールの「星条旗よ永遠なれ」まで楽しく演奏することができました。3年生の引退ステージでもあり、思い出深いものとなりました。会場に足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

(管弦楽部長 田島 萌々香)

【文芸部】文芸部は6月11日(日)に島原文化会館中ホールで引退公演を行いました。公演に向けた練習では、この3年間の楽しかったことや辛かったことが次々と思い出されてきました。本番ではこれまでの練習の成果を出し切り、悔いのないよう、楽しくやり遂げることができました。今まで私たちを支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。(文芸部長 宅島 彩)

教育実習を終えて

5月24日(水)～6月12日(火)の期間
本校卒業生が教育実習を行いました。



◆成瀬 文(国語)

3週間を通して、授業に真剣に取り組む姿、高総体での雄姿、丁寧に気持ちのよい挨拶と島高生のすばらしい面をたくさん見せてもらいました。私も島高OBとして、常に希望を忘れない人生を歩んでいきたいと思えます。

◆伊藤 奨(保健体育)

3週間という短い期間でしたが、先生方のご指導、明るく元気な島高生のお陰で非常に有意義な時間となりました。この経験を今後の学生生活、人生に活かしていきたいと思えます。

◆柳澤 友希(日本史)

2週間という短い期間でしたが、自分にとってはとても濃密な2週間でした。自分が高校時代過ごした場所を今度は教師の立場から見ることで、原点に立ち返ることが出来ました。生徒たちに負けないよう、精進したいと思います。

◆土居 裕佳(保健体育)

様々な活動を通して、教師の素晴らしさを感じ、教師になりたいという思いがより一層強くなった3週間となりました。今後も夢を叶えるべく、日々努力を積み重ねていきたいと思えます。

◆平島 寛寿(数学)

島原高校で1番感じた事は生徒たちの素直さでした。そしてそれは卒業生として母校をもう一度誇れる機会を与えてくれました。3週間島原高校でしか経験できない実習をさせて頂くことができ、深謝しております。

◆永石 洸(保健体育)

実習で過ごした3週間はとても有意義で、自分自信とても成長できたと思えます。また、謙虚で一生懸命に授業、部活動に励む生徒のみなさんの姿は私にとっても、すごく良い刺激になりました。今後も島高生の活躍を期待し、陰ながら応援させていただきます。

◆勝井 将五(数学)

授業をはじめ、高総体や部活動など様々な場で生徒と関わる中で、多くのことを学ぶことができました。生徒の皆さんのまっすぐな瞳と誠実な態度を見て、改めて私も目標へ向けて努力しようと思えました。

◆丸田 康陽(世界史)

今回の実習では1年生と多く関わり、元気をいただきました。教育の面白さ・むずかしさだけでなく、高校生の年代が何を考え、どんな教育を求めているのかを知るいい機会になりました。2週間、色々な経験をさせて頂きありがとうございました。

◆上村 貴弥(保健体育)

私にとって教育実習は大変有意義なものでした。クラスを受け持ったり、授業を行ったりと、教員という仕事の大変さとともに、やりがいのある充実した毎日を体験させて頂きました。本当に良い経験になりました。教員を志望する気持ちが一層強くなりました。

◆相川 薫(数学)

45分間の授業に対して、その何倍もの時間をかけて授業の準備がされており、教員の仕事の大変さを実感すると共に、やりがいも感じました。将来教員になれるように、教育実習の経験を生かし、より一層勉強に励みたいと思えます。

長崎県理数科高等学校課題研究発表会

6月8日(木)に大村市で行われた「第11回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会」に本校理数科の全員が参加しました。「課題研究」とは2年生時に行う理数科独自の取組で、自分たちで研究テーマを決め、1年間通して研究します。

この大会では3年生が昨年度1年間かけて行った研究の成果を口頭発表とポスター発表に分けて発表しました。学校代表として口頭発表の部に参加した2班「さつまいもの調理法の違いによる全糖量の変化」、「熊本地震の震度分布の伸びの方向性」が優秀賞を獲得し、第19回中国四国九州地区理数科高等学校課題研究発表大会への出場を推薦されました。また、ポスター発表の部では、5部門中3部門で本校の研究が優秀賞を獲得しました。1年間の取組の成果が高く評価された結果となりました。

理数科担当 植松 耕平



「合唱コンクール」&「夏の大会」に向けて

【合唱部】みなさん、こんにちは。合唱部です！

私達合唱部は、7月16日(日)アルカス佐世保で行われる九州合唱コンクール長崎県予選大会に出場します。今年は九州大会への出場枠が昨年より減ってしまうため厳しい大会となりますが、必ず金賞を獲り、沖縄で行われる九州大会に出場できるように、部員一同頑張りたいと思えます！応援よろしくお願ひします！ 合唱部部長 金井光希

【野球部】いよいよ第99回全国高等学校野球選手権長崎大会(甲子園予選)が開幕します。今年のチームは公式戦で接戦をものにできず悔しい思いをしてきました。今大会も決して楽な戦いはないと思えますが「勝ち」にこだわって戦い抜きます。応援に来てくださる保護者や桜球会(OB会)の方々、島高の関係者の方々とは一緒に歌えるよう頑張ります。野球部主将 松尾 朋晟

〔1回戦〕対 猶興館高校
〔日 時〕7月9日(日)12:00 プレーボール
〔場 所〕佐世保市総合グラウンド野球場



平成29年度 島原高校 学校説明会

7月25日(火)

■全体会【島原文化会館 大ホール】 …13:30～15:30 (受付 13:00～)

校長挨拶

入学者選抜説明(高校入試ワンポイントアドバイス)

学校紹介、理数科紹介

■部活動見学・体験【各実施場所】 …16:00～

詳細はホームページをご覧ください。